

平成二十五年法律第八十六号

自動車の運転により人を死傷させる行為等の処罰に関する法律

(定義)

**第一条** この法律において「自動車」とは、道路交通法(昭和三十五年法律第二百五号)第二条第一項第九号に規定する自動車及び同項第十号に規定する原動機付自転車をいう。

この法律において「無免許運転」とは、法令の規定による運転の免許を受けている者又は道路交通法第二百七条の二の規定により国際運転免許証若しくは外国運転免許証で運転することができるとされている者でなければ運転することができないこととされている自動車を当該免許を受けないで(法令の規定により当該免許の効力が停止されている場合を含む)又は当該国際運転免許証若しくは外国運転免許証を所持しないで(同法第八十八条第一項第二号から第四号までのいずれかに該当する場合又は本邦に上陸(住民基本台帳法(昭和四十二年法律第八十号)に基づき住民基本台帳に記録されている者が出入国管理及び難民認定法(昭和二十六年政令第三百十九号)第六十条第一項の規定による出国の確認、同法第二十六条第一項の規定による再入国の許可(同法第二十六条の二第一項(日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法(平成三年法律第七十一号)第二十三条第二項において準用する場合を含む))の規定により出入国管理及び難民認定法第二十六条第一項の規定による再入国の許可を受けたものとみなされる場合を含む)又は出入国管理及び難民認定法第六十一条の二の十五第一項の規定による難民旅行証明書の交付を受けて出国し、当該出国の日から三月に満たない期間内に再び本邦に上陸した場合における当該上陸を除く)をした日から起算して滞在期間が一年を超えている場合を含む)、道路(道路交通法第二条第一項第一号に規定する道路をいう)において、運転することをいう。

(危険運転致死傷)

**第二条** 次に掲げる行為を行い、よって、人を負傷させた者は五年以上の有期懲役に処し、人を死亡させた者は一年以上の有期懲役に処する。

一 アルコール又は薬物の影響により正常な運転が困難な状態で自動車を走行させる行為

二 その進行を制御することが困難な高速度で自動車を走行させる行為

三 その進行を制御する技能を有しないで自動車を走行させる行為

四 人又は車の通行を妨害する目的で、走行中の自動車の直前に進入し、その他通行中の人が又は車に著しく接近し、かつ、重大な交通の危険を生じさせる速度で自動車を運転する

五 車の通行を妨害する目的で、走行中の車で自動車を運転する行為

六 高速自動車国道(高速自動車国道法(昭和三十二年法律第七十九号)第四条第一項に規定する道路をいう)又は自動車専用道路(道路法(昭和二十七年法律第八十号)第四十八条の四に規定する自動車専用道路をいう)において、自動車の通行を妨害する目的で、走行中の自動車の前方で停止し、その他これに著しく接近することとなる方法で自動車を運転する行為

七 赤色信号又はこれに相当する信号を殊更に無視し、かつ、重大な交通の危険を生じさせる速度で自動車を運転する行為

八 通行禁止道路(道路標識若しくは道路標示により、又はその他の法令の規定により自動車の通行が禁止されている道路又はその部分であつて、これを通行することが又は車に交通の危険を生じさせるものとして政令で定めるものをいう)を進行し、かつ、重大な交通の危険を生じさせる速度で自動車を運転する行為

(過失運転致死傷)

四 人又は車の通行を妨害する目的で、走行中の自動車の直前に進入し、その他通行中の人が又は車に著しく接近し、かつ、重大な交通の危険を生じさせる速度で自動車を運転する

五 車の通行を妨害する目的で、走行中の車で自動車を運転する行為

六 高速自動車国道(高速自動車国道法(昭和三十二年法律第七十九号)第四条第一項に規定する道路をいう)又は自動車専用道路(道路法(昭和二十七年法律第八十号)第四十八条の四に規定する自動車専用道路をいう)において、自動車の通行を妨害する目的で、走行中の自動車の前方で停止し、その他これに著しく接近することとなる方法で自動車を運転する行為

七 赤色信号又はこれに相当する信号を殊更に無視し、かつ、重大な交通の危険を生じさせる速度で自動車を運転する行為

八 通行禁止道路(道路標識若しくは道路標示により、又はその他の法令の規定により自動車の通行が禁止されている道路又はその部分であつて、これを通行することが又は車に交通の危険を生じさせるものとして政令で定めるものをいう)を進行し、かつ、重大な交通の危険を生じさせる速度で自動車を運転する行為

(施行期日)

一 この法律は、刑法等一部改正法施行日から施行する。ただし、次の各号に掲げる規定は、当該各号に定める日から施行する。

二 第五百九条の規定(公布の日)

附 則 (令和五年六月一六日法律第五六号)抄

**第一条** この法律は、公布の日から起算して一年を超えない範囲内において政令で定める日から施行する。

**第二条** この法律の施行前にした行為に対する罰則の適用については、なお従前の例による。

**第三条** この法律は、公布の日から起算して六月を超えない範囲内において政令で定める日から施行する。

**第四条** この法律の施行前にした行為に対する罰則の適用等に関する経過措置

一 この法律は、公布の日から起算して二十日を経過した日から施行する。

(施行期日)

号

抄

附 則 (令和二年六月一二日法律第四七号)抄

この法律は、公布の日から起算して二十日を

経過した日から施行する。

附 則 (令和四年六月一七日法律第六八号)抄

この法律は、公布の日から起算して二十日を

経過した日から施行